

滋賀県立安土城考古博物館 特別陳列

渡来人の古墳と寺

天智天皇6年(667)3月、都は飛鳥を離れて近江大津宮に遷りました。その背景の一つとして、古墳時代以来、琵琶湖周辺に定着した中国や朝鮮半島からの渡来人の存在があります。彼らが携えた先進的な技術や文化は、近江の発展に欠くことのできないものでした。

今回の展示では、近江の中でも一際多数の渡来人が居住した旧愛知郡と旧滋賀郡を取り上げ、彼らが葬られた古墳と建立した寺院を紹介します。



穴太廃寺 軒丸瓦・軒平瓦
(滋賀県教育委員会蔵)



小八木廃寺出土 鬼板
(東近江市教育委員会蔵)

平成29年 **2月18日(土)~4月2日(日)**

●休館日…2月20日(月)・27日(月) 3月6日(月)・13日(月)・21日(火)・27日(月)

●入館料…大人450円(2月25日以降は企画展開催のため500円)・高大生300円

※小中学生・障害者・県内在住65歳以上の方は無料

●場 所…滋賀県立安土城考古博物館 望楼下特設ケース

《主な展示資料》

- 金剛寺野古墳群出土 須恵器、耳環
- 穴太飼込古墳群出土 ミニチュア炊飯具・特殊扁壺ほか
- 軽野塔ノ塚廃寺出土 軒丸瓦、軒平瓦
- 野々目廃寺出土 軒丸瓦、軒平瓦
- 小八木廃寺出土 鬼板
- 穴太廃寺出土 軒丸瓦、軒平瓦

博物館講座

「古代近江の渡来文化」

講師…大道和人(当館学芸員)

日時…2月18日(土)

13:30~15:00

会場…当館セミナールーム

講師…大道和人(当館学芸員)

※事前申込みは不要です。定員140名。200円。